



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社

コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	133,759	11.5	12,536	44.6	13,163	56.7	7,384	70.7
24年3月期第3四半期	120,013	1.4	8,669	△4.7	8,402	△5.1	4,325	△9.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 8,397百万円(92.2%) 24年3月期第3四半期 4,367百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	226.18	222.04
24年3月期第3四半期	134.54	131.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	116,818	89,191	72.3
24年3月期	108,474	80,417	71.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 84,461百万円 24年3月期 77,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,300	7.4	15,800	29.0	16,400	31.3	8,700	22.6	265.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) カルビー(杭州)食品有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	32,731,450株	24年3月期	32,540,950株
② 期末自己株式数	1株	24年3月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	32,646,217株	24年3月期3Q	32,150,572株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2 平成25年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,731,450株により算出しております。

3 当社は、平成25年1月30日(水)に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかな回復基調にあるものの、世界的な景気減速懸念やデフレの影響等により、依然として先行き不透明な状況にあります。スナック菓子業界におきましても、個人消費の低迷により、厳しい経営環境が続きました。

このような環境にあつて、当社グループは、引き続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。イノベーションでは、海外事業の拡大に向けた取組みとして、北米においてペプシコグループと業務提携しました。また、中国、台湾に康師傅(カンシーフ)グループとの合弁会社を設立しました。さらに、インドネシアではWingsグループとの合弁会社の設立を決定しました。国内事業では、ポテトチップスの積極展開や新製品「ベジップス」の全国展開などにより、市場シェアを向上させることができました。コスト・リダクションでは、稼働率向上などにより製造原価率を低減させることができました。

しかし、平成24年11月に「堅あげポテト」におきまして、ガラス片混入という事態を発生させ、ガラス片の混入したおそれのある製品の自主回収を開始いたしました。お客様、株主の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。今後も、品質・安全性を最優先し、再発防止に向けた取組みを徹底してまいります。

当第 3 四半期連結累計期間の売上高は、133,759百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。利益面では、国内市場でのシェア拡大を図るため販売促進費を積極的に投下しましたが、売上拡大と製造原価率低減により、営業利益は12,536百万円（前年同四半期比44.6%増）、経常利益13,163百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。四半期純利益は、「堅あげポテト」の自主回収に伴う損失364百万円を計上しましたが、法人税率が引き下げられたことなどにより、7,384百万円（前年同四半期比70.7%増）となりました。売上高、利益ともに、東日本大震災の影響を受け低迷した前年同四半期と比較して大幅な増加となりました。

## ・事業別の状況

## (食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、スナック菓子の売上高が好調で、131,978百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

## ・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、ポテト系スナックや新製品、海外が牽引し、115,863百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

## ① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、積極的なプロモーション活動による定番品（うすしお味・コンソメパンチ・のりしお）の売上拡大などにより、国内シェアを向上させることができました。また、「じゃがりこ」は定番品（サラダ・チーズ）が好調に推移したことに加え、「たらこバター」の定番化（コンビニエンスストア限定）により、売上拡大に貢献しました。「Jagabee」は製品ラインナップの強化により、売上が伸長しました。その結果、売上高は77,549百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

## ② 小麦系スナック

「かっぱえびせん」の地域・期間限定品が好調に推移したことなどにより、売上高は15,966百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

## ③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、「マイクポップコーン」や「チートス」などの主力製品が堅調に推移しましたが、震災特需のあった前年同四半期を上回ることができず、10,158百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

## ・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、シリアル食品が好調で、16,114百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。シリアル食品は、「フルグラ」のPR活動の強化とスーパーマーケットやドラッグストア等の導入率拡大により、売上高は前年同四半期を上回りました。

(その他)

その他事業の売上高は、販売促進ツールの売上は前年同四半期を下回りましたが、物流事業の売上が前年同四半期を上回ったことにより、1,781百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ8,343百万円増加し、116,818百万円となりました。この主な要因は、有価証券、売上債権及びたな卸資産が増加したことによるものです。有価証券は譲渡性預金の取得により増加しました。

負債は、買掛金が増加しましたが、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し、27,627百万円となりました。

純資産は、利益剰余金と少数株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ8,773百万円増加し、89,191百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は2,580円43銭となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4,034百万円減少し、15,414百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは7,013百万円の純収入(前年同四半期は2,827百万円の純支出)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額5,989百万円、売上債権の増加額1,877百万円、たな卸資産の増加額1,409百万円の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益12,458百万円、減価償却費4,658百万円の資金の増加があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは11,823百万円の純支出(前年同四半期は3,257百万円の純支出)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出6,039百万円、定期預金の預入による支出3,020百万円、有価証券の取得による支出3,000百万円の資金の減少があったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは285百万円の純収入(前年同四半期は690百万円の純支出)となりました。この主な要因は、配当金の支払額1,523百万円の資金の減少がありましたが、少数株主からの払込みによる収入1,594百万円の資金の増加があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成24年11月1日に発表した業績予想を下記の通り修正いたします。

### 通期 連結業績予想値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,300	15,200	14,900	8,500	260.15
今回修正予想(B)	175,300	15,800	16,400	8,700	265.80
増減額(B-A)	2,000	600	1,500	200	—
増減率(%)	1.2	3.9	10.1	2.4	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	163,268	12,247	12,486	7,096	220.29

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社のグローバル戦略のもと、アジアにおけるスナック菓子の最も有望な市場である中国において、当社製品の売上高とシェアの拡大を図るため、平成24年8月に中国で強い販売力を持つ康師傅控股有限公司の傘下企業である康師傅方便食品投資(中国)有限公司、伊藤忠商事㈱及び当社の3社により合併会社であるカルビー(杭州)食品有限公司を設立し、同社を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ58百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,448	15,424
受取手形及び売掛金	18,763	20,786
有価証券	13	6,013
たな卸資産	4,920	6,379
その他	4,703	6,717
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	47,847	55,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,580	20,632
機械装置及び運搬具(純額)	14,052	14,179
土地	10,721	10,755
建設仮勘定	1,370	2,507
その他(純額)	816	984
有形固定資産合計	47,541	49,058
無形固定資産		
のれん	4,538	4,101
その他	1,534	1,420
無形固定資産合計	6,073	5,522
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,106	7,010
貸倒引当金	△93	△92
投資その他の資産合計	7,012	6,917
固定資産合計	60,627	61,498
資産合計	108,474	116,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,595	7,521
未払金	3,141	2,678
未払法人税等	3,885	2,842
賞与引当金	3,287	2,344
役員賞与引当金	211	143
災害損失引当金	57	—
その他	5,457	6,705
流動負債合計	22,636	22,235
固定負債		
長期借入金	6	4
退職給付引当金	3,611	3,785
役員退職慰労引当金	497	506
資産除去債務	623	629
その他	681	466
固定負債合計	5,420	5,392
負債合計	28,056	27,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,252	11,411
資本剰余金	10,820	10,979
利益剰余金	56,141	62,159
株主資本合計	78,213	84,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△29
為替換算調整勘定	△560	△60
その他の包括利益累計額合計	△550	△89
新株予約権	85	70
少数株主持分	2,669	4,659
純資産合計	80,417	89,191
負債純資産合計	108,474	116,818



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	120,013	133,759
売上原価	69,546	74,913
売上総利益	50,467	58,846
販売費及び一般管理費	41,797	46,310
営業利益	8,669	12,536
営業外収益		
受取利息	17	26
受取配当金	51	57
為替差益	—	436
その他	352	297
営業外収益合計	421	817
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	535	—
減価償却費	20	52
開業費	0	50
その他	126	84
営業外費用合計	687	189
経常利益	8,402	13,163
特別利益		
固定資産売却益	10	114
助成金受入益	230	—
負ののれん発生益	175	—
災害損失引当金戻入額	163	—
その他	1	5
特別利益合計	581	119
特別損失		
固定資産売却損	29	49
固定資産除却損	56	130
災害による損失	258	—
関係会社整理損	129	—
製品回収関連費用	—	364
業務委託契約改定損	—	279
その他	53	1
特別損失合計	528	824
税金等調整前四半期純利益	8,456	12,458
法人税、住民税及び事業税	3,391	4,970
法人税等調整額	451	△67
法人税等合計	3,843	4,903
少数株主損益調整前四半期純利益	4,613	7,555
少数株主利益	287	171
四半期純利益	4,325	7,384

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,613	7,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△38
為替換算調整勘定	△289	880
その他の包括利益合計	△245	841
四半期包括利益	4,367	8,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,270	7,845
少数株主に係る四半期包括利益	97	551

第3四半期連結会計期間  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	44,028	47,684
売上原価	24,470	25,835
売上総利益	19,557	21,848
販売費及び一般管理費	14,781	16,020
営業利益	4,775	5,828
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	10	10
為替差益	71	853
その他	62	71
営業外収益合計	152	946
営業外費用		
支払利息	0	0
減価償却費	6	24
開業費	—	50
その他	16	16
営業外費用合計	24	91
経常利益	4,903	6,682
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券評価損戻入益	13	—
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	18	24
製品回収関連費用	—	364
業務委託契約改定損	—	279
その他	0	0
特別損失合計	20	669
税金等調整前四半期純利益	4,897	6,014
法人税、住民税及び事業税	2,064	2,396
法人税等調整額	189	△2
法人税等合計	2,253	2,393
少数株主損益調整前四半期純利益	2,643	3,620
少数株主利益	90	19
四半期純利益	2,553	3,601

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,643	3,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△17
為替換算調整勘定	122	1,261
その他の包括利益合計	114	1,243
四半期包括利益	2,758	4,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,616	4,318
少数株主に係る四半期包括利益	142	545

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,456	12,458
減価償却費	4,947	4,658
のれん償却額	441	470
負ののれん発生益	△175	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△891	△946
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△68
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	281	163
前払年金費用の増減額 (△は増加)	105	109
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	68	8
受取利息及び受取配当金	△69	△83
支払利息	4	2
為替差損益 (△は益)	440	△554
助成金受入益	△230	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△4
固定資産売却損益 (△は益)	19	△65
固定資産除却損	56	130
災害損失	95	△57
関係会社整理損	129	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,481	△1,877
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,521	△1,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,473	868
未収入金の増減額 (△は増加)	△95	△208
未払金の増減額 (△は減少)	△992	△210
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△169	73
その他	△1,512	△564
小計	2,395	12,893
利息及び配当金の受取額	72	112
利息の支払額	△5	△2
助成金の受取額	230	—
災害損失の支払額	△1,308	—
法人税等の支払額	△4,212	△5,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	7,013

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,156	△5,741
有形固定資産の売却による収入	126	275
無形固定資産の取得による支出	△228	△297
有価証券の取得による支出	—	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△13	△14
投資有価証券の売却による収入	7	37
関係会社株式の取得による支出	△13	—
定期預金の預入による支出	—	△3,020
定期預金の払戻による収入	—	10
貸付けによる支出	△99	△195
貸付金の回収による収入	108	82
差入保証金の差入による支出	△124	△73
差入保証金の回収による収入	203	196
その他	△68	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,257	△11,823
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△26	—
長期借入金の返済による支出	△184	△2
ストックオプションの行使による収入	614	304
少数株主からの払込みによる収入	—	1,594
配当金の支払額	△893	△1,366
少数株主への配当金の支払額	△117	△156
リース債務の返済による支出	△82	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690	285
現金及び現金同等物に係る換算差額	△221	489
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,997	△4,034
現金及び現金同等物の期首残高	18,238	19,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,241	15,414

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。